

「さわやか西中 あこがれの自分を求めて」

平成28年度 柳津町立西山中学校

学校だより

平成28年12月16日(金)発行 第 35 号 発行責任者:高橋 弘悦

租税教室を開催しました

13日、税務署員の方をお招きして租税教室を開催しました。本校では、今年から租税教育推進校に指定され、特に詳しく税について学ぶことになっています。

租税教室は「次代を担う児童・生徒等が、民主主義の根幹である租税の意義や役割を正しく理解し、社会の構成員として税金を納め、その使い道に関心を持ち、さらには納税者として社会や国の在り



10kgあるという一億円の札束見本

方を主体的に考えるという自覚を育てることを目的」とし、行われているものです。

あまり考えたくないテーマでしたが、国の財政をしっかりと見極め、国民としてなすべき義務を果たすためには知らなければならない内容です。

会では、DVDで、税金がなければどのような社会になるのか、の仮想社会を想定して講義が進められました。納税義務のない生徒たちにも、税金の仕組みや大切さがおぼろげながら理解できたように思います。

生徒会主催 校内球技大会開催！

6日放課後、生徒会主催の校内球技大会が開催されました。学校行事として行う球技大会は多くの学校で行っていますが、生徒会が主体となって実施する球技大会はあまり例がなく、大変画期的な行事です。

生徒会が主催となって行う大会は3年前から行われており、本校生徒会の活発な活動を示す大会となっています。

大会は、生徒会が全校生を4つのチームに分け、フットサルを総当たり戦で行いました。



生徒も教師も一緒に楽しめた大会…。今後も西山中学校の伝統の行事として続くことを願っています。

小中合同下校訓練実施

一昨日からの雪で、学校のまわりもすっかり冬景色となりました。いよいよ冬本番という感じです。

14日、突発的な大雪に迅速に対処できるようにするため、小学校と合同で集団下校訓練を行いました。これは、突発的な緊急事態に備えるための大切な訓練です。生徒たちはそれぞれの校外班に分かれ、下校の仕方や注意事項を確認した後、小学生を伴って地域ごとに下校しました。大変スムーズな下校ができました。



素直な子はよく伸びる

平成28年12月12日集会より

2学期も残り9日間となりました。期末テストも終わり、校長室にはぞくぞくとテストの結果、通知票が届きはじめています。それぞれの結果を見ながら、一人ひとりがどのようにこの2学期を過ごしてきたかを思い起こしながら点検しています。

成績を見ていると、「あ～この生徒はよく頑張ったな」と感じる生徒もいます。ある先生から、「一日自学ノートを30ページやりなさい。」といわれて、本当にやりきった生徒がいるという話を聞きました。その先生は「目標を示したつもりだったんだけど、それを本当にやり遂げた。すごい。」と感動していました。通知表を見ていると、こういう生徒は大きく成績を伸ばし、実力をつけていることがわかります。



一方で、「この子だったらこれぐらいのがんばりをしてくれるだろう」と期待していたのに、伸び悩んでいる生徒もいます。2学期は長い学期ですし、いろいろな行事もあって疲れます。マンネリ化して疲れてしまったり、「このぐらいでいいや」とある程度のところで妥協してしまったのかもしれない。残念ながら、「ちょっと中途半端な気持ちになっちゃっていますね」という報告を受けた生徒もいます。

以前、「素直な人はよく伸びる」という話をしたことがあります。いわれて「嫌だな」と思うこともあります。それを素直に受け入れ、自分を改善するためにがんばる人のことを素直な人といってもいいと思います。残念ながら素直でない人は、他の人のことばを拒否します。また、感動することを拒否し、「ムキになってかっこわるい」ことだとして、たいしたことはないと思込むようにします。

耳の痛いことにも素直に耳を傾ける、すごいなと思うことはすごいと素直に感動する、きれいだなと思うことには素直にきれいだなと思う。このような素直な心が、自分をよい方に導き、自分の能力を生かすことにつながります。

西山中学校の生徒には、全員このような素直な心を持って自分を最大限に伸ばす生徒であって欲しいと心から願っています。